



少年少女
世界の名作文学

ソビエト版

*ピーチヤの学校生活

*サーカスのゴムより小僧

*ネズナイカ

*石の花

*町からきた少女

■ N D C 9 0 9 昭和42年 5 0 2 P 2 2 ・ 5 cm 小学館版

—— 少年少女世界の名作文学／第37巻／ソビエト編5 ——

- 昭和42年3月20日発行
- 少年少女世界の名作文学／第37巻／ソビエト編5
- ビーチャの学校生活／サーカスのゴムまり小僧
- ネズナイカ／石の花／町からきた少女
- 定価／四八〇円
- 編者／◎名作選定委員会 ■ 発行者／相賀徹夫
- 発行所／株式会社小学館 東京都千代田区神田一ツ橋二ノ一
- 電話東京(263)二二一一 ■ 振替／東京二〇〇番
- 印刷・製本／大日本印刷株式会社
- 本文用紙／本州製紙株式会社
- 表紙クロス／東洋クロス株式会社

執筆者紹介

平塚武二／明治38年、神奈川県に生まれる。日本児童文学者協会理事。主な著書に、風と花びら、大陽よりも月よりも、しあわせの王子
宮脇紀雄／明治40年、岡山県に生まれる。日本児童文学者協会理事。主な著書に、山かげの石、ふるさとはなし、みつばちマーヤの冒険
山本和夫／明治40年、福井県に生まれる。日本児童文学者協会理事。昭和39年度小学館児童文学賞受賞。主な著書に燃える湖、スベードの女王
田島準子／明治43年、山口県に生まれる。日本児童文学者協会評議員。主な著書に、ナイチンゲール、緑園の少女
福井研介／明治41年、岡山県に生まれる。日本児童文学者協会評議員。主な著書に、ビーチャと学校友だち、マカレ
ンコ全集

造本にはじゅうぶん注意しておりますが、万一落丁・乱丁などの不良品がありましたら、おとりかえいたします。

少年
少女 世界の名作文学—37

ソビエト編 5

ビーチャの学校生活・サーカスのゴムまり小僧
ノースフ原作 グリゴロービチ原作

ネズナイカ・石の花・町からきた少女
ノースフ原作 バジョーフ原作、ボロンコワ原作

福井研介編



小学館

はじめに ……

福井研介

この巻には、古いロシア時代と、ソビエト時代になってからの傑作ばかりを集めました。

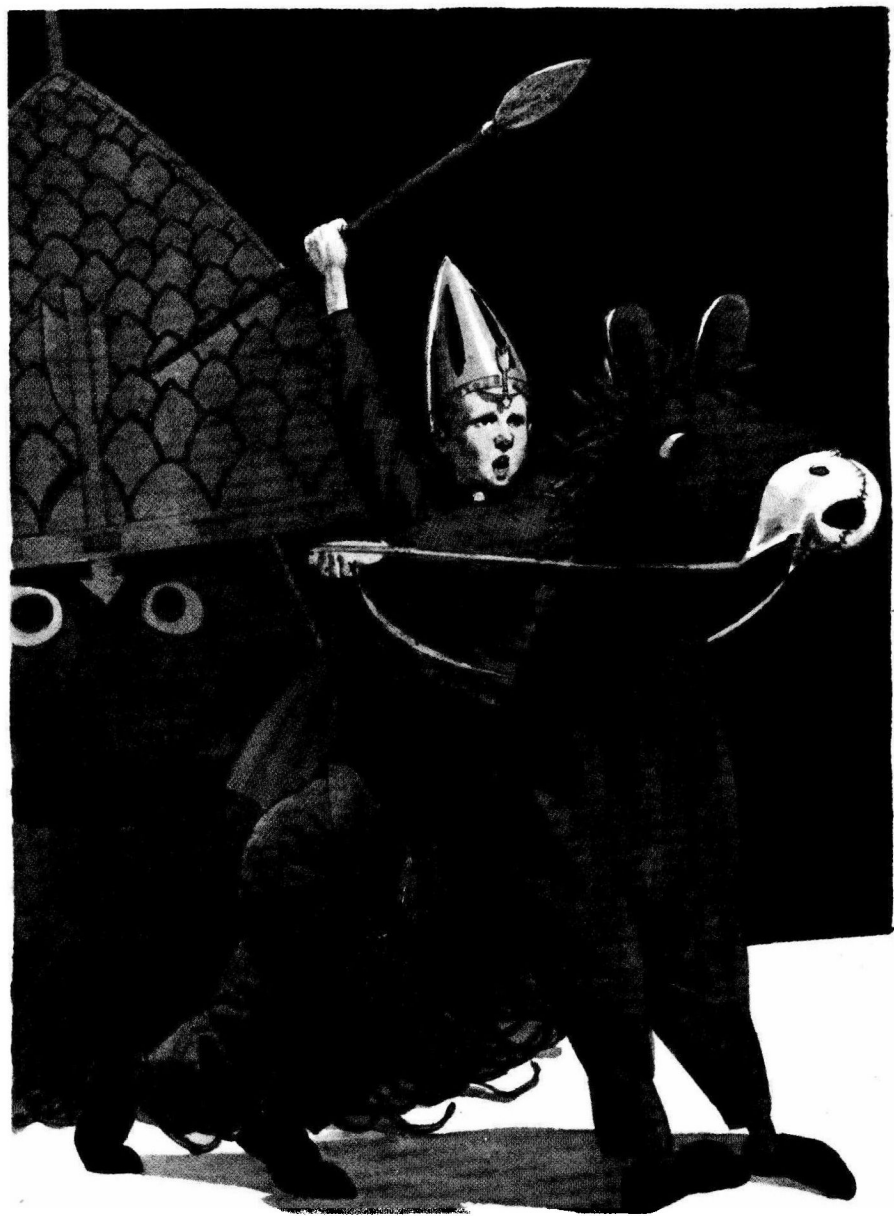
ノーソフの『ビーチヤの学校生活』は、遊びすぎて勉強がおろそかになった少年が反省し、優等生になるまでの、学校や家庭でのようすを、目に見えるように描いています。

おなじ作者の『ネズナイカ』は、小人の国の物知りで頭のいいズナイカ、なにも知らないが物知りぶるネズナイカたち十六人が、気球を作つて空中旅行に出かけ、いろいろな愉快なことをまきおこす物語です。

グリゴロビチの『サーカスのゴムまり小僧』は、古い時代のサーカスで、いじめぬかれて曲芸をするひとりの不幸な少年と、恵まれた環境の人たちとを対比させて描いています。

バジョーフの『石の花』は、生まれつき美しいものが大好きなダニールシコが、石工になって、石にも生きた美しさをあらわそうと、苦心に苦心をかさねる感動の物語です。

ボロンコーワの『町からきた少女』は、戦争でみなしごになった女の子が、暗い傷あとから立ちなおって、明るく成長していく姿を描いた物語です。



ビーチャの学校生活

「おのれ巨人め！」やりをかまえ勇壯な馬上姿のルスラン役のワーニャ。だが馬になったビーチャとシーシキンの呼吸が合わず、舞台の上でよろよろ。学芸会の見物人は大喜び。

60ページをごらんください。



ネズナイカ

ふんわりと気球は^{ききゅう}大空^{おおぞら}に向かって舞^まいあがりました。勇^{いさ}ましい花^{はな}の町^{まち}の小人^{こびと}たち十六^{じゅうろく}人の空^{くう}中^{ちゅう}旅行^{りょこう}の出^{しゅつ}発^{ぱつ}です。見^み送^{おく}りの小人^{こびと}たちは手^てをたたいたり、帽^{ぼうし}子をほうりあげたりしました。

217ページをごらんください。



サーカスの
ゴムまり小僧

はりつめた^{くき}空気がサーカス小屋の^{なか}中に満ちていた。興奮と安心の連続……。ゴムまり小僧は呼吸をはかり背^せ筋をそらしはじめた。さおははげしく左右にゆれる。と、その瞬間……。

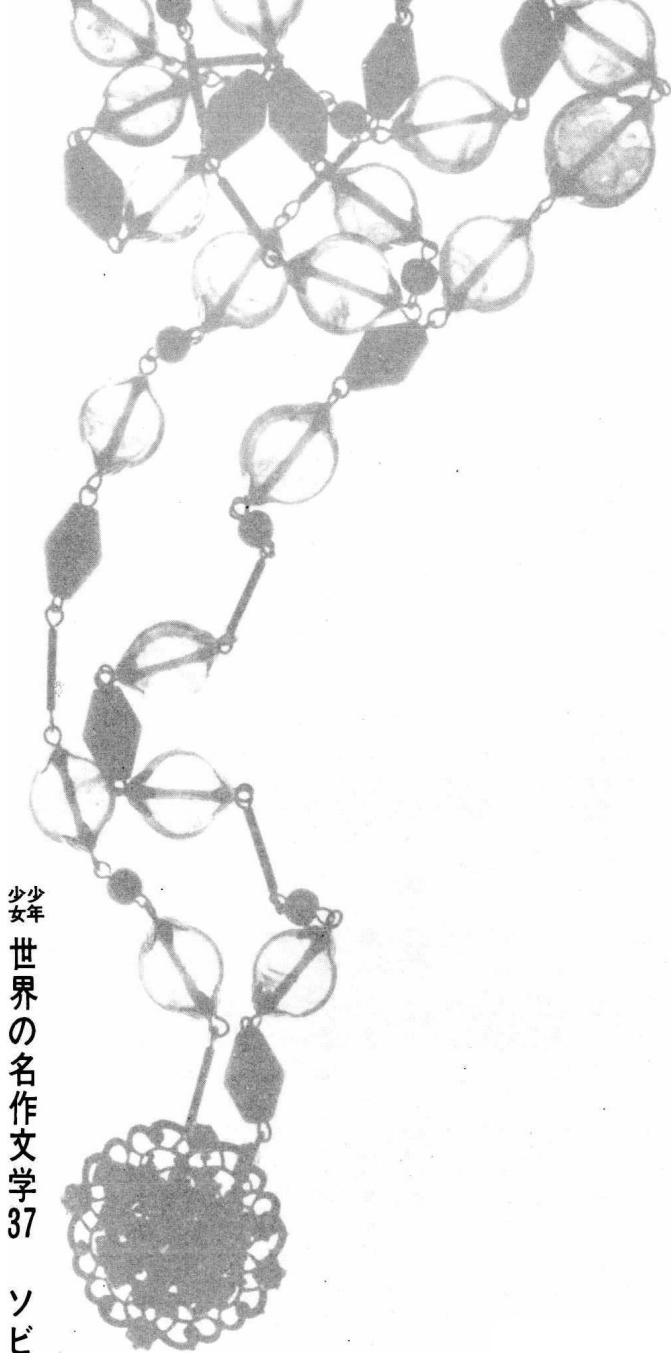
178ページをごらんください。



まちからきた少女

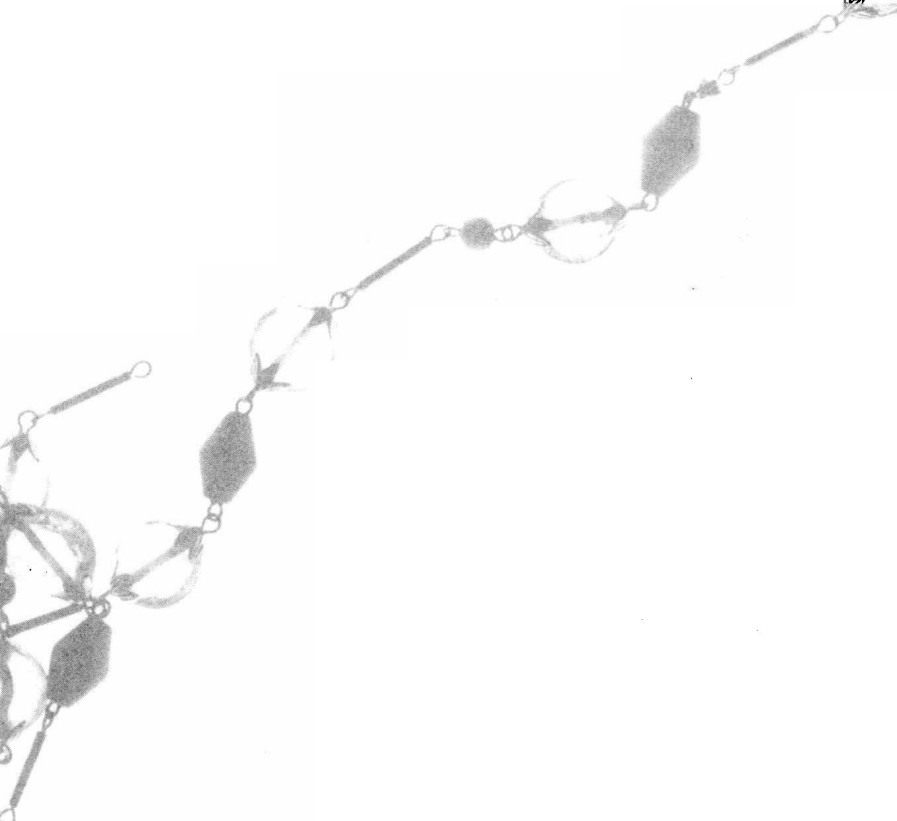
バリバリバリ！突然，音を立てて川岸の氷が割れ，驚きと恐怖に立ちすくむローマノクをのせたまま流れだした。身の危険を忘れ，ワーリャは冷たい水の中に夢中で飛びこんだ。

444ページをごらんください。



もくじ

少年少女 世界の名作文学 37 ソビエト編 5



はじめに.....2

ビーチャの学校生活

ノースワ作.....19

第一編 できないビーチャ.....22

(一) 新学期.....22

(二) 九九.....29

(三) いたずらがきと白ねずみ.....35

(四) 壁新聞.....41

(五) がまんだ、がまんだ.....50

第二編 似たもの同士

(一) 学芸会.....56

(二) お祭りの日.....62

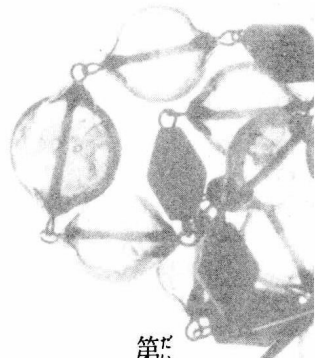
(三) 算数はおもしろい.....67

(四) なまけシーシキン.....75

(五) サーカス.....78

(六) サーカスごっこ.....82

(七) ずる休み.....87



(八) ロープジグ……………90
第三編……………96

(一) ばか正直……………96

(二) シーシキンの家で……………101

(三) ああ、先生！……………107

(四) 校長室で……………114

(五) やりなおし……………119

(六) ばんざいロープジグ……………124

(七) 学級文庫……………133

(八) シーシキンはまじめになった……………139

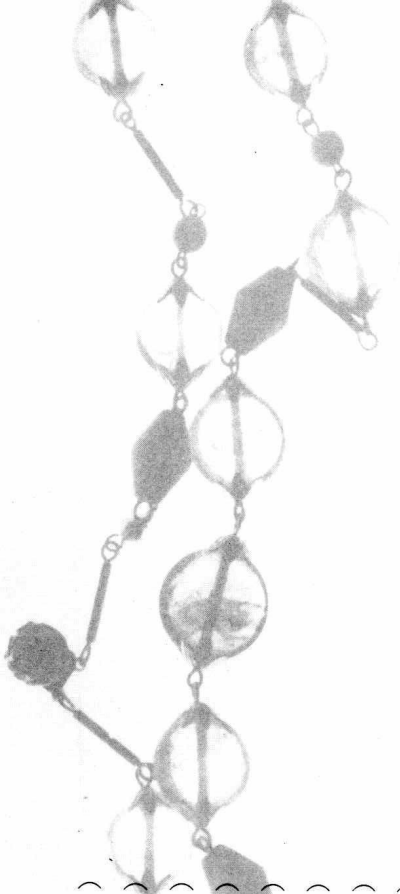
(九) 春の風だね……………143

サーカスのこぞう ゴムまり小僧

グリゴロービチ作……………145

ネズナイカ……………185
ノーツフ作……………185

(一) 花の町の小人たち……………187



(二)	ネズナイカ、音楽家になる……………	192
(三)	ネズナイカ、絵かきになる……………	196
(四)	ネズナイカ、詩人になる……………	200
(五)	ネズナイカ、自動車にのる……………	202
(六)	ズナイカ、気球を発明する……………	207
(七)	空中旅行の準備……………	212
(八)	空中旅行に出発……………	215
(九)	雲の上……………	218
(十)	一卷の終わり……………	225
(十一)	気絶したネズナイカ……………	230
(十二)	テールを囲んで……………	234
(十三)	ハタラキバチ病院で……………	242
(十四)	緑の町は大さわぎ……………	247
(十五)	たこの町へでかける……………	249
(十六)	小説家をたずねて……………	255
(十七)	逃げだしたトンブク博士……………	264
(十八)	ズナイカあらわれる……………	271
(十九)	たんぼのしげみに……………	274

石の花

バジョーフ作

(二十)	なかなかおり……	277
(三十二)	花の町へ帰る……	284
お話のはじめに……	289	
(一)	きびしい親方……	289
(二)	骨と皮だけのやせつぼち……	292
(三)	三番めの仕事……	297
(四)	思わぬしあわせ……	303
(五)	管理人やりこめられる……	307
(六)	かくしていた腕まえ……	313
(七)	だんなさまのはちとじぶんのはち……	316
(八)	ふしぎな石の花……	322
(九)	へび山へ行ってごらん……	328
(十)	婚礼のまえの晩……	332
(十一)	死人の花嫁……	340
(十二)	逃げだしたいたずら者……	344
(十三)	カーチャの大もつけ……	350